

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当日より平成 26 年 12 月 5 日発行

12月の主な行事

12月19日(金)

第8回倉吉市公民館研究大会(倉吉交流プラザ)

全国社会教育研究大会徳島大会開催!!

10月23(木)、24日(金)に全国社会教育研究大会が徳島市で開催されました。本大会は、「夢・絆 阿波からつむぐ 新たな社会教育」をスローガンに、「共に支え 互いを認め合いながら豊かに生きる 社会の創造」を研究主題とし、初日は記念講演とシンポジウム、2日目は5分科会に分かれて研修を深めました。

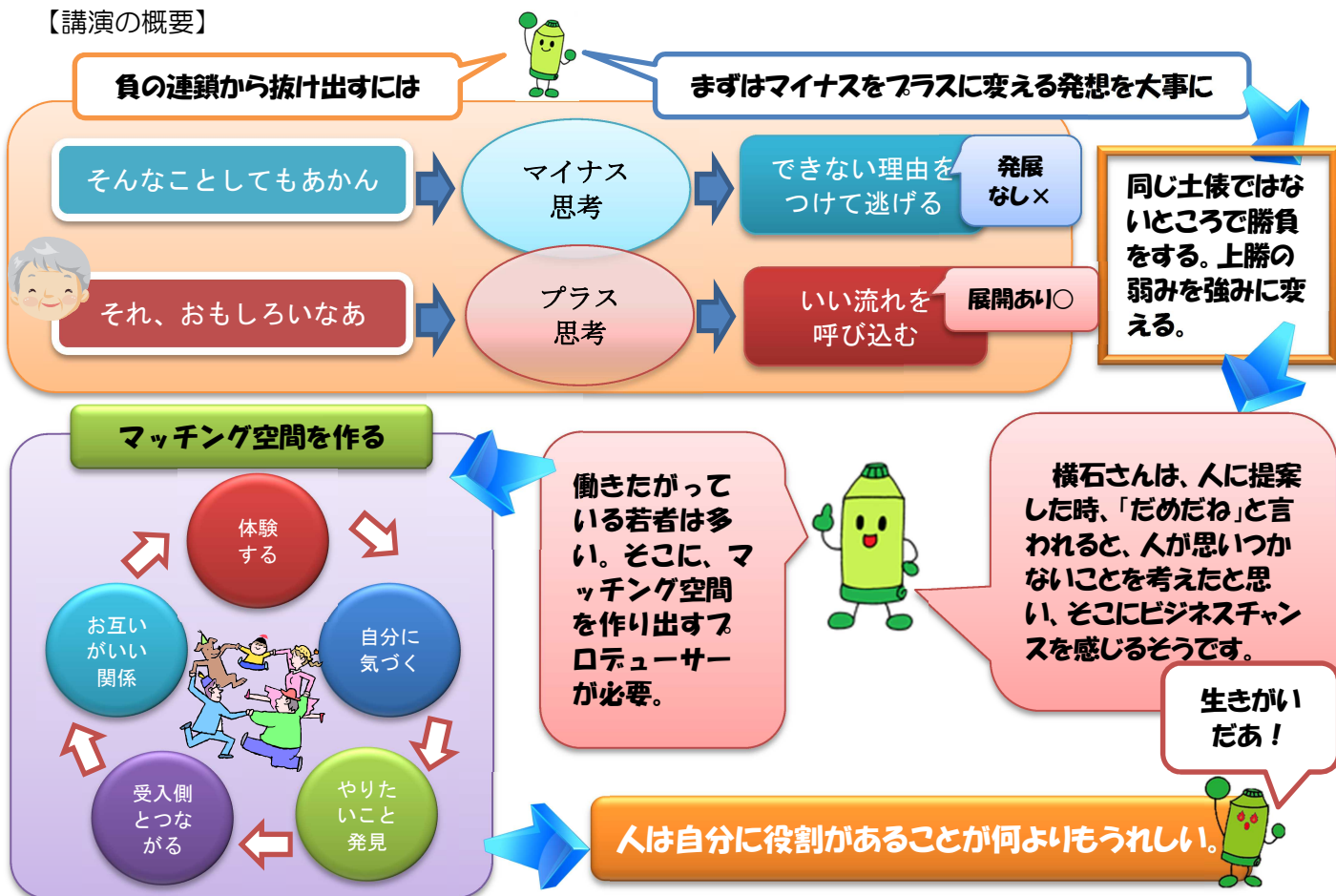
記念講演 「自分の舞台の活かし方」

株式会社いろどり 代表取締役社長 横石知二 氏

【講師紹介】

徳島県の山間にある上勝町。四国で最も人口が少なく、高齢化の進んだ上勝町は、典型的な過疎地だった。あるとき、ひとりの農協職員が、山で採れる葉っぱを料理のつまものとして販売することを考える。それが横石知二さんである。高齢の女性たちとともに事業を起こした結果、年商3億円に迫るビジネスに成長した。町は活気を取り戻し、ここ5年間で289人の若者が移住するまでになった。

【講演の概要】





参加者された小谷友幸さんのレポート

琴浦町 社会教育委員 小谷友幸さん

今大会は10月23日(木)、24日(金)の日程で、アスティとくしまを会場として開催されました。

記念講演は「葉っぱビジネス」で有名な「株式会社いろどり」の社長、横石知二さんでした。テレビで紹介された番組を私も何度か見たことがあり、興味深く話を聞くことができました。高齢者や山間部の村を活性化させ、「ムラ興し」につながっていく様子や、メディアでは語られなかった夫婦の会話、熱すぎる裏エピソードなどが語られました。単なる成功事例だけではなく、私の仕事などでも共感できるような失敗や苦悩の事例の数々に「システムの構築」の大変さを感じました。



シンポジウムでは「防災でつながる地域の絆」学校・家庭・地域の連携で進める防災をテーマに4人のシンポジストの実践報告を受けながら、コーディネーターが論点を明確に進めていきました。その中で、新語とも造語とも言える「防災生涯学習」という表現や、徳島ならではの取組が紹介され、地域の絆を強め、「共に支えあう」温かい社会の構築につなげていくことが協議されました。

2日目は5つの分科会が開かれ、どの分科会も魅力的でしたが、私は地域防犯パトロールや交通安全指導等に参加していることもあり、「学校を支える」の分科会に参加しました。地域ぐるみで学校を支援する方策や実践報告を聞き、琴浦町の小学校は他県に比べ、地域に対して開かれている学校ではないかと感じました。



今回の総合的な所感としては、社会教育活動の維持に行政のバックアップが必要であり、そのバックアップの恩を社会教育委員の私も健康で長生きすることにより長期ローンで少しずつ返していくことができればと思いました。



小谷さん、レポート
ありがとうございました。

【感想】

自分が活動していることで、そこに居場所がみつき、人に感謝される。これほど生きがいのあるサイクルはありません。今回私が参加した分科会も含め、キーワードは「役立ち感」。私たち社会教育関係者は、その事業が対象者にとって必要なのか、その人のスキルを活かして人や地域とつながっていけるのか考えて事業計画を立てなければなりません。様々な場面で人が人に認められ「役立ち感」が得られる空間を作り出すことが重要なことだと思いました。(岸本)



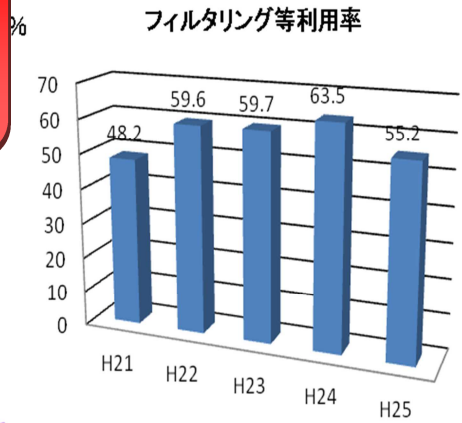
フィルタリング大丈夫ですか？～県PTA研究大会より～

保護者の喫緊の課題として「子どものスマホやインターネットをめぐる問題」について親の役割を再認識し、PTAとして何が出来るかを考える研究大会が11月24日(月)にアロハホールで開催されました。文部科学省委託事業の「ネットモラルキャラバン隊」と連携し、実践発表や講演、パネルディスカッションが行われました。

子どもたちの現状



ところが保護者のフィルタリング等の利用率は下がっています。



トラブル例

- 個人情報の流出
→ SNS やブログに気軽に載せてしまう。
- リベンジポルノ
→ 別れてから腹いせにネットに写真等を流される。
- 悪質な書き込み
→ いじめ、悪口、LINE でのグループはずし等。



ちゅうぶくん

～親の心子知らず～

フィルタリングとウィルス対策は重要！！

- フィルタリングとは
→ 危険なサイトに行かないようにする。
- ウィルス対策とは
→ 危険なものの侵入を防ぐ。

コミュニティサイトの利用をとおして被害を受けた青少年のうち、9割以上がフィルタリング未加入です。

家庭では

- (1) 適切にインターネットを利用させましょう。
 - ・ 機器を持たせる前に、フィルタリングやペアレンタルコントロール機能を設定する。
 - ・ 子どもの成長に合わせて、利用する範囲を広げていく。
- (2) 家庭のルールを子どもと一緒に作りましょう。
 - ・ 子どもの実態に即したルールを作る。
 - ・ 守れているかどうか分かりやすいルールを作る。



中部教育局 社会教育担当 岸本隆治
 電話 0858-23-3253
 FAX 0858-23-5203
 E-mail kishimoto-r@pref.tottori.jp

